

メキシコ株ファンド

運用報告書(全体版) 第7期

(決算日 2018年11月19日)

(作成対象期間 2018年5月18日～2018年11月19日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式		
信託期間	約 5 年間（2015年 5 月 7 日～2020年 5 月15日）		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資 対 象	ベビーファンド	メキシコ株マザーファンドの 受益証券	
	メ キ シ コ 株 マザーファンド	イ. メキシコの金融商品取引 所上場および店頭登録（上 場予定および店頭登録予定 を含みます。）の株式およ び不動産投資信託証券（不 動産投資信託の受益証券お よび不動産投資法人の投資 証券をいいます。） ロ. メキシコの企業の D R （預託証券） ハ. メキシコの株価指数を対 象指数とした上場投資信託 証券（E T F）	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率		無制限
	ベビーファンドの株式実質組入上限比率		
	マザーファンドの株式組入上限比率		
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売 買益（評価益を含みます。）等とし、原則とし て、基準価額の水準等を勘案して分配金額を 決定します。ただし、分配対象額が少額の場 合には、分配を行なわないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申
上げます。

当ファンドは、メキシコの株式等に投資
し、信託財産の成長をめざしております。当
作成期につきましてもそれに沿った運用を行
ないました。ここに、運用状況をご報告申し
上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、
お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先(コールセンター)

TEL 0120-106212

(営業日の9:00～17:00)

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<5680>

最近5期の運用実績

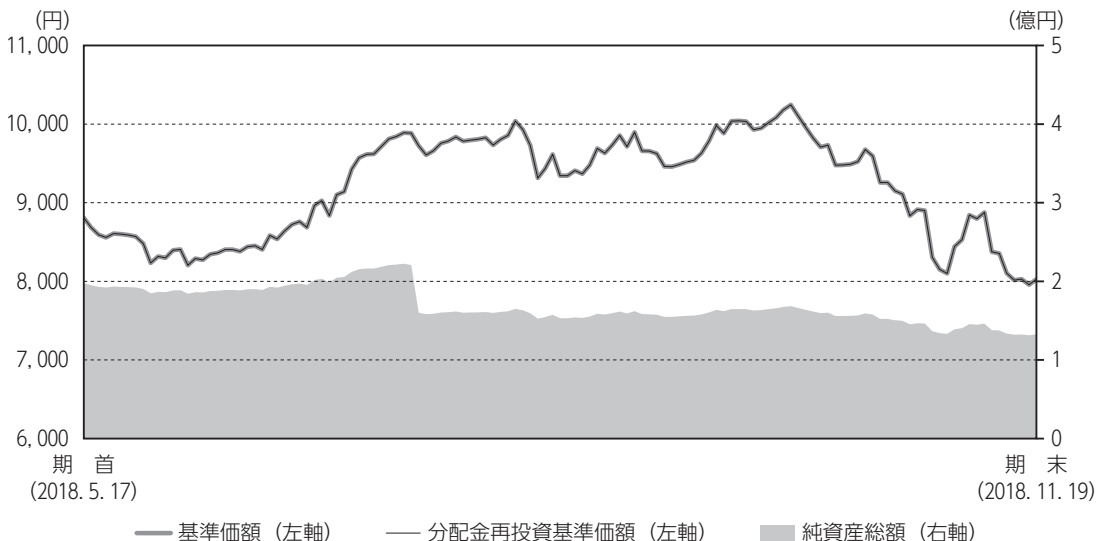
決 算 期	基 準 価 額			メキシコ ボルサ指数 (円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	投資信託 証 券 組入比率	純資産 総 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
3 期末 (2016年11月17日)	7, 599	0	△ 13. 4	6, 932	△ 11. 3	96. 0	—	1. 5	119
4 期末 (2017年 5 月17日)	9, 243	0	21. 6	8, 558	23. 5	92. 7	—	4. 4	164
5 期末 (2017年11月17日)	8, 809	0	△ 4. 7	8, 124	△ 5. 1	93. 8	—	4. 9	165
6 期末 (2018年 5 月17日)	8, 809	0	0. 0	7, 526	△ 7. 4	90. 5	—	8. 4	197
7 期末 (2018年11月19日)	8, 027	0	△ 8. 9	6, 788	△ 9. 8	91. 1	—	1. 0	132

- (注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
- (注 2) メキシコ ボルサ指数 (円換算) は、メキシコ ボルサ指数 (メキシコ・ペソベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10, 000として大和投資信託が計算したものです。
- (注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注 5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
- (注 6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期 首：8,809円

期 末：8,027円（分配金 0 円）

騰落率：△8.9%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

メキシコシティ新空港の建設中止発表を機に、オブラドール次期大統領の経済政策への懸念が高まったため、メキシコの株式市場や通貨は下落しました。このような環境の中でメキシコ株式に投資した結果、保有していたメキシコ株式が現地通貨建てで下落したことに加えて為替相場でメキシコ・ペソが対円で下落したため、基準価額は下落しました。

メキシコ株ファンド

年 月 日	基 準 価 額		メキシコ ボルサ指数 (円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	投資信託 証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期首) 2018年 5 月17日	円 8,809	% —	7,526	% —	% 90.5	% —	% 8.4
5 月末	8,317	△ 5.6	7,044	△ 6.4	89.1	—	8.6
6 月末	8,964	1.8	7,557	0.4	90.8	—	8.3
7 月末	9,797	11.2	8,543	13.5	90.1	—	7.7
8 月末	9,660	9.7	8,278	10.0	92.0	—	6.6
9 月末	10,081	14.4	8,604	14.3	91.4	—	6.7
10 月末	8,151	△ 7.5	7,046	△ 6.4	94.2	—	1.0
(期末) 2018年11月19日	8,027	△ 8.9	6,788	△ 9.8	91.1	—	1.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2018. 5. 18 ~ 2018. 11. 19)

■メキシコ株式市況

メキシコ株式市況は下落しました。

当作成期首から2018年8月にかけてのメキシコ株式市況は上昇しました。7月のメキシコ大統領選挙で、左派政党MORENA（国家再生運動）のオブラドール氏が大幅で当選を果たし、議会選挙でもMORENA連合が上下院で過半数を獲得しました。MORENA連合の議席数は市場予想を上回るものでしたが、同氏が現実的な政策運営方針を強調したことが好感され、メキシコ株式市場は堅調な展開が続きました。その後、アルゼンチンやトルコなどの通貨が急落したことを機に新興国市場に対する売り圧力が強まりましたが、NAFTA（北米自由貿易協定）の再交渉が進展し米国・カナダ・メキシコの3カ国が9月末に合意に達したことが支えとなり、メキシコ株式市場は底堅い動きが続きました。しかし、10月末に次期オブラドール政権が不十分な意見調査の結果を利用して同空港の建設中止を発表したため、次期政権の経済政策への懸念が高まり、株式市場は当作成期末にかけて下落しました。

■為替相場

メキシコ・ペソは対円で下落しました。

当作成期首から2018年8月にかけてのメキシコ・ペソは、7月のメキシコ大統領選挙で左派政党MORENA（国家再生運動）のオブラドール氏が当選したにもかかわらず、同氏が速やかに経済政策チームを発表し、現実的な政策運営方針を強調したことが好感され、対円で上昇しました。しかし、経済界からのメキシコシティ新空港の建設継続に対する強い要請にもかかわらず、10月末に次期オブラドール政権が不十分な意見調査の結果を利用して同空港の建設中止を発表したため、次期政権の経済政策への懸念が高まり、ペソは当作成期末にかけて下落しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「メキシコ株マザーファンド」の受益証券を通じ、基本的に株式組入比率は高位とする方針です。

■メキシコ株マザーファンド

NAFTA（北米自由貿易協定）再交渉は成功裏に終わるとみていますが、合意時期は引き続き見通しが立っていません。大統領選挙については、左派政党MORENA（国家再生運動）のオブラドール氏の支持率上昇が市場に嫌気されていますが、同氏の経済政策は具体性や一貫性を欠いており、メキシコ経済にどのような影響を与えるかははっきりしません。このため、現時点では、同氏の勝利を過度に悲観的に考える必要はないとみています。いずれの候補者が勝利するにしても、選挙後は、徐々に具体化するであろう次期政権の経済政策を冷静に吟味し、対応していく方針です。また、上記の不透明感により、メキシコ株式市場はすでに魅力的なバリュエーションで取引されているため、不透明要因の解消を機に株式市場のバリュエーションが切上がる余地があるとみています。

中長期的なメキシコ株式市場の見通しに変化はありません。高いコスト競争力を持つ輸出セクターの成長や、現政権が推し進めた構造改革による潜在成長率の押し上げなどを背景に、メキシコ株式市場の株価上昇トレンドは継続すると想定しています。当ファンドは、上記のような市場見通しの下、個別企業の利益成長率や株価バリュエーションなどに着目して銘柄選別を行ない、ポートフォリオを構築する方針です。

ポートフォリオについて

(2018. 5. 18 ~ 2018. 11. 19)

■当ファンド

「メキシコ株マザーファンド」の受益証券を通じ、株式組入比率を高位としました。

■メキシコ株マザーファンド

当作成期は、株式組入比率を高位とし、経済情勢や業界動向等の分析と個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等の分析の組み合わせにより、ポートフォリオを構築しました。

個別銘柄では、米国やメキシコにおける事業への過度な懸念から株価が大幅に下落し、割安な水準で取引されていた飲料会社 ARCA CONTINENTAL（生活必需品）や、業績見通しの改善にもか

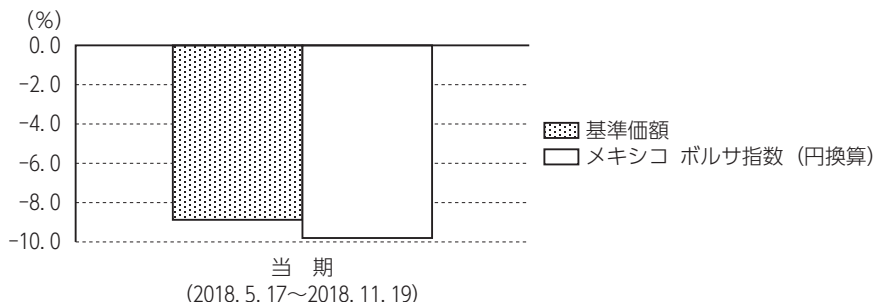
かわらず割安な株価水準が是正されていなかった BANCO SANTANDER MEXICO（金融）など
 を買い付けました。一方で、株価の反発により上昇余地が小さくなったと判断したメディア会社
 GRUPO TELEVISIA（コミュニケーション・サービス）、次期政権の政策が悪影響を与える可能性
 が懸念された BANCO DEL BAJIO（金融）や GRUPO FINANCIERO BANORTE（金融）などを
 売り付けました。

足元のポートフォリオは、業種では、銀行を中心とした金融セクターや通信会社を中心としたコ
 ミュニケーション・サービスセクターを高位の組み入れとしました。個別銘柄では、通信会社
 AMERICA MOVIL（コミュニケーション・サービス）や飲料会社 ARCA CONTINENTAL（生活
 必需品）を高位の組み入れとしました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数（メキシコ ボルサ指数（円換算））との騰落率
 の対比です。参考指数はメキシコ株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期は、基準価額の水準等を勘案して、収益分配を見送らせていただきました。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2018年5月18日 ～2018年11月19日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	173

- （注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

「メキシコ株マザーファンド」の受益証券を通じ、基本的に株式組入比率は高位とする方針です。

■メキシコ株マザーファンド

メキシコシティ新空港の建設中止に関して、軍用空港と現空港の併用案の安全性や効率性、意見調査の実施の方法に対する疑問点などについて、次期政権が真摯に回答しないまま建設中止を表明したことが市場に驚きを与えました。その後も、銀行手数料の制限や鉱山会社に対する増税が法案として浮上し、影響を受ける可能性のある企業の株価が下落しました。次期政権の経済政策運営に懸念が高まっている状態の中、当面は市場が不安定な状態が続くとみられます。一方で、強い不安感を反映してメキシコ株式市場はすでに魅力的と考えられるバリュエーション水準で取引されています。状況を過度に悲観視するのではなく、冷静に政策を見極め、業績見通しや株価バリュエーションなどに着目して銘柄選別を行ない、中長期的な当ファンドの基準価額上昇をめざしてポートフォリオを構築する方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2018. 5. 18～2018. 11. 19)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	84円	0. 908%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9, 205円です。
(投 信 会 社)	(41)	(0. 440)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(41)	(0. 440)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(3)	(0. 027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	25	0. 277	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(23)	(0. 254)	
(投資信託証券)	(2)	(0. 022)	
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	50	0. 545	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(50)	(0. 542)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	159	1. 730	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

メキシコ株ファンド

■売買および取引の状況
親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2018年5月18日から2018年11月19日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
メキシコ株 マザーファンド	2,579	2,500	59,996	62,700

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2018年5月18日から2018年11月19日まで)

項 目	当 期
	メキシコ株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	200,560千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	152,923千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.31

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。
(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

期首保有額	期中設定額	期中解約額	期末保有額	取引の理由
百万円	百万円	百万円	百万円	
100	—	—	100	当初設定時における取得

(注1) 金額は元本ベース。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
メキシコ株 マザーファンド	212,201	154,784	132,325

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年11月19日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
メキシコ株マザーファンド	132,325	98.6
コール・ローン等、その他	1,819	1.4
投資信託財産総額	134,145	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月19日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝112.73円、1メキシコ・ペソ＝5.59円です。
(注3) メキシコ株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(130,499千円)の投資信託財産総額(132,324千円)に対する比率は、98.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年11月19日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	134,145,086円
コール・ローン等	1,819,517
メキシコ株マザーファンド（評価額）	132,325,569
(B) 負債	1,553,644
未払解約金	7,160
未払信託報酬	1,541,845
その他未払費用	4,639
(C) 純資産総額（A－B）	132,591,442
元本	165,183,991
次期繰越損益金	△ 32,592,549
(D) 受益権総口数	165,183,991口
1万口当り基準価額（C／D）	8,027円

* 期首における元本額は224,515,782円、当作成期間中における追加設定元本額は4,048,644円、同解約元本額は63,380,435円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は8,027円です。
* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は32,592,549円です。

■損益の状況

当期 自 2018年 5月18日 至 2018年11月19日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 203円
受取利息	2
支払利息	△ 205
(B) 有価証券売買損益	△ 11,503,251
売買益	6,863,418
売買損	△ 18,366,669
(C) 信託報酬等	△ 1,546,734
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 13,050,188
(E) 前期繰越損益金	△ 8,575,867
(F) 追加信託差損益金	△ 10,966,494
(配当等相当額)	(1,396,921)
(売買損益相当額)	(△ 12,363,415)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 32,592,549
次期繰越損益金 (G)	△ 32,592,549
追加信託差損益金	△ 10,966,494
(配当等相当額)	(1,396,921)
(売買損益相当額)	(△ 12,363,415)
分配準備積立金	1,469,456
繰越損益金	△ 23,095,511

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	619,116円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	1,396,921
(d) 分配準備積立金	850,340
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	2,866,377
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	2,866,377
(h) 受益権総口数	165,183,991口

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。
- (注4) 投資信託財産 (親投資信託) の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：482,585円 (未監査)

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA (ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

メキシコ株マザーファンド

運用報告書 第7期（決算日 2018年11月19日）

（作成対象期間 2018年5月18日～2018年11月19日）

メキシコ株マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ. メキシコの金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式および不動産投資信託証券（不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券をいいます。） ロ. メキシコの企業のDR（預託証券） ハ. メキシコの株価指数を対象指数とした上場投資信託証券（ETF）
株式組入制限	無制限

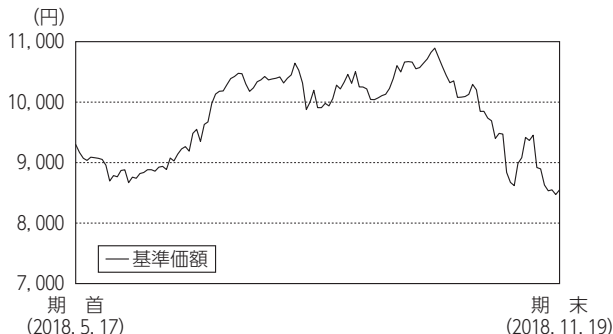
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準価額		メキシコ ボルサ指数 (円換算)		株式 組入 比率	株式 先物 比率	投資信託 証券 組入比率
	円	%	(参考指数)	%	%	%	%
(期首) 2018年 5月17日	9,299	—	7,526	—	90.7	—	8.4
5月末	8,785	△ 5.5	7,044	△ 6.4	89.3	—	8.6
6月末	9,483	2.0	7,557	0.4	91.0	—	8.3
7月末	10,383	11.7	8,543	13.5	90.3	—	7.7
8月末	10,252	10.2	8,278	10.0	92.2	—	6.6
9月末	10,714	15.2	8,604	14.3	91.6	—	6.7
10月末	8,673	△ 6.7	7,046	△ 6.4	94.5	—	1.0
(期末) 2018年11月19日	8,549	△ 8.1	6,788	△ 9.8	91.3	—	1.0

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) メキシコ ボルサ指数 (円換算) は、メキシコ ボルサ指数 (メキシコ・ペソベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：9,299円 期末：8,549円 騰落率：△8.1%

【基準価額の主な変動要因】

メキシコシティ新空港の建設中止発表を機に、オブラドール次期大統領の経済政策への懸念が高まったため、メキシコの株式市場や通貨は下落しました。このような環境の中でメキシコ株式に投資した結果、保有していたメキシコ株式が現地通貨建てで下落したことに加え、為替相場でメキシコ・ペソが対円で下落したため、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○メキシコ株式市況

メキシコ株式市況は下落しました。

当作成期首から2018年8月にかけてのメキシコ株式市況は上昇しました。7月のメキシコ大統領選挙で、左派政党MORENA（国家再生運動）のオブラドール氏が大幅で当選を果たし、議会選挙でもMORENA連合が上下院で過半数を獲得しました。MORENA連合の議席数は市場予想を上回るものでしたが、同氏が現実的な政策運営方針を強調したことが好感され、メキシコ株式市場は堅調な展開が続きしました。その後、アルゼンチンやトルコなどの通貨が急落したことを機に新興国市場に対する売り圧力が強まりましたが、NAFTA（北米自由貿易協定）の再交渉が進展し米国・カナダ・メキシコの3カ国が9月末に合意に達したことが支えとなり、メキシコ株式市場は底堅い動きが続きました。しかし、10月末に次期オブラドール政権が不十分な意見調査の結果を利用して同空港の建設中止を発表したため、次期政権の経済政策への懸念が高まり、株式市場は当作成期末にかけて下落しました。

○為替相場

メキシコ・ペソは対円で下落しました。

当作成期首から2018年8月にかけてのメキシコ・ペソは、7月のメキシコ大統領選挙で左派政党MORENA（国家再生運動）のオブラドール氏が当選したにもかかわらず、同氏が速やかに経済政策チームを発表し、現実的な政策運営方針を強調したことが好感され、対円で上昇しました。しかし、経済界からのメキシコシティ新空港の建設継続に対する強い要請にもかかわらず、10月末に次期オブラドール政権が不十分な意見調査の結果を利用して同空港の建設中止を発表したため、次期政権の経済政策への懸念が高まり、ペソは当作成期末にかけて下落しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

NAFTA（北米自由貿易協定）再交渉は成功裏に終わるとみえますが、合意時期は引き続き見通しが立っていません。大統領選挙については、左派政党MORENA（国家再生運動）のオブラドール氏の支持率上昇が市場に嫌気されていますが、同氏の経済政策は具体性や一貫性を欠いており、メキシコ経済にどのような影響を与えるかははっきりしません。このため、現時点では、同氏の勝利を過度に悲観的に考える必要はないとみています。いずれの候補者が勝利するにしても、選挙後は、徐々に具体化するであろう次期政権の経済政策を冷静に吟味し、対応していく方針です。また、上記の不透明感により、メキシコ株式市場はすでに魅力的なバリュエーションで取引されているため、不透明要因の解消を機に株式市場のバリュエーションが切上る余地があるとみています。

中長期的なメキシコ株式市場の見通しに変化はありません。高いコスト競争力を持つ輸出セクターの成長や、現政権が推し進めた構造改革による潜在成長率の押し上げなどを背景に、メキシコ株式市場の株価上昇トレンドは継続すると想定しています。当ファンドは、上記のような市場見通しの下、個別企業の利益成長率や株価バリュエーション

メキシコ株マザーファンド

ンなどに着目して銘柄選別を行ない、ポートフォリオを構築する方針です。

◆ポートフォリオについて

当作成期は、株式組入比率を高位とし、経済情勢や業界動向等の分析と個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等の分析の組み合わせにより、ポートフォリオを構築しました。

個別銘柄では、米国やメキシコにおける事業への過度な懸念から株価が大幅に下落し、割安な水準で取引されていた飲料会社 ARCA CONTINENTAL（生活必需品）や、業績見通しの改善にもかかわらず割安な株価水準が是正されていなかった BANCO SANTANDER MEXICO（金融）などを買い付けました。一方で、株価の反発により上昇余地が小さくなったと判断したメディア会社 GRUPO TELEvisa（コミュニケーション・サービス）、次期政権の政策が悪影響を与える可能性が懸念された BANCO DEL BAJIO（金融）や GRUPO FINANCIERO BANORTE（金融）などを売り付けました。

足元のポートフォリオは、業種では、銀行を中心とした金融セクターや通信会社を中心としたコミュニケーション・サービスセクターを高位の組み入れとしました。個別銘柄では、通信会社 AMERICA MOVIL（コミュニケーション・サービス）や飲料会社 ARCA CONTINENTAL（生活必需品）を高位の組み入れとしました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数（メキシコ ボルサ指数（円換算））の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

参考指数はメキシコ株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

メキシコシティ新空港の建設中止に関して、軍用空港と現空港の併用案の安全性や効率性、意見調査の実施の方法に対する疑問点などについて、次期政権が真摯に回答しないまま建設中止を表明したことが市場に驚きを与えました。その後も、銀行手数料の制限や鉱山会社に対する増税が法案として浮上し、影響を受ける可能性のある企業の株価が下落しました。次期政権の経済政策運営に懸念が高まっている状態の中、当面は市場が不安定な状態が続くとみられます。一方で、強い不安感を反映してメキシコ株式市場はすでに魅力的と考えられるバリュエーション水準で取引されています。状況を過度に悲観視するのではなく、冷静に政策を見極め、業績見通しや株価バリュエーションなどに着目して銘柄選別を行ない、中長期的な当ファンドの基準価額上昇をめざしてポートフォリオを構築する方針です。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式) (投資信託証券)	27円 (25) (2)
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用) (その他)	53 (53) (0)
合 計	80

(注 1) 費用の項目および算出法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注 2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1) 株 式

(2018 年 5 月 18 日から 2018 年 11 月 19 日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	メキシコ	百株 3, 247 (—)	千メキシコ・ペソ 12, 986 (—)	百株 4, 545. 04	千メキシコ・ペソ 21, 577

(注 1) 金額は受渡し代金。

(注 2) () 内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注 3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2018 年 5 月 18 日から 2018 年 11 月 19 日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	メキシコ	千口 11 (—)	千メキシコ・ペソ 268 (△ 28)	千口 197. 101 (—)	千メキシコ・ペソ 2, 949 (—)

(注 1) 金額は受渡し代金。

(注 2) 買付 () 内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注 3) 売付 () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注 4) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

(1)株 式

(2018年 5月18日から2018年11月19日まで)

当 期				期			
買		付		売		付	
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
BANCO SANTANDER MEXICO-B (メキシコ)	62.3	10,894	174	GRUPO TELEvisa SAB-SER CPO (メキシコ)	34.9	14,888	426
ARCA CONTINENTAL SAB DE CV (メキシコ)	12.9	7,703	597	BANCO DEL BAJIO SA (メキシコ)	45.8	11,387	248
UNIFIN FINANCIERA SAB DE CV (メキシコ)	23.7	7,258	306	GRUPO FINANCIERO BANORTE-O (メキシコ)	14.6	10,278	704
AMERICA MOVIL SAB DE C-SER L (メキシコ)	71	6,357	89	UNIFIN FINANCIERA SAB DE CV (メキシコ)	34.1	9,381	275
GRUPO MEXICO SAB DE CV-SER B (メキシコ)	19.3	5,931	307	GRUMA S. A. B. -B (メキシコ)	5.4	7,581	1,403
BOLSA MEXICANA DE VALORES SA (メキシコ)	25.3	4,546	179	INDUSTRIAS BACHOCO-SER B (メキシコ)	13.8	7,175	519
MEGACABLE HOLDINGS-CPO (メキシコ)	8.8	4,482	509	GRUPO AEROPORTUARIO DEL CENT (メキシコ)	8.6	6,146	714
INDUSTRIAS BACHOCO-SER B (メキシコ)	7.5	3,822	509	ALSEA SAB DE CV (メキシコ)	14.8	5,772	390
TELESITES SAB DE CV (メキシコ)	41	3,217	78	BECLE SAB DE CV (メキシコ)	33.4	5,315	159
GRUPO AEROPORTUARIO DEL CENT (メキシコ)	4.8	3,209	668	GRUPO CEMENTOS CHIHUAHUA (メキシコ)	7.6	5,242	689

(注 1) 金額は受渡し代金。

(注 2) 金額の単位未満は切捨て。

(2)投資信託証券

(2018年 5月18日から2018年11月19日まで)

当 期				期			
買		付		売		付	
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
FIBRA UNO ADMINISTRACION SA (メキシコ)	11	1,512	137	CONCENTRADORA FIBRA HOTELERA (メキシコ)	164.8	10,666	64
				PROLOGIS PROPERTY MEXICO SA (メキシコ)	20.301	4,544	223
				PLA ADMINISTRADORA INDUSTRIA (メキシコ)	12	1,833	152

(注 1) 金額は受渡し代金。

(注 2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国株式

銘柄	期首		当期		期末		業種等
	株数	株数	評価額				
			外貨建金額	邦貨換算金額			
(メキシコ)	百株	百株	千メキシコ・ペソ	千円			
INDUSTRIAS BACHOCO-SER B	147.95	84.95	580	3,245	生活必需品		
GRUPO AEROPORTUARIO DEL CENT	172	134	1,270	7,104	資本財・サービス		
UNIFIN FINANCIERA SAB DE CV	212	108	471	2,634	金融		
MEGACABLE HOLDINGS-CPO	127	130	1,245	6,962	コミュニケーション・サービス		
QUALITAS CONTROLADORA SAB CV	145	220	945	5,286	金融		
LA COMER SAB DE CV	450	337	714	3,993	生活必需品		
GRUPO CEMENTOS CHIHUAHUA	162	114	1,220	6,822	素材		
BECLE SAB DE CV	334	—	—	—	生活必需品		
BANCO DEL BAJIO SA	613	212	827	4,622	金融		
BANCO SANTANDER MEXICO-B	—	348	904	5,055	金融		

メキシコ株マザーファンド

銘柄		期首	当	期末		業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
		百株	百株	千メキシコ・ペソ	千円	
GRUPO AEROPORT DEL PACIFIC-B		116	90	1,301	7,274	資本財・サービス
AMERICA MOVIL SAB DE C-SER L		1,230	1,450	1,970	11,015	コミュニケーション・サービス
GRUPO TELEvisa SAB-SER CPO		429	120	723	4,044	コミュニケーション・サービス
TELESITES SAB DE CV		778.2	848.61	1,087	6,081	コミュニケーション・サービス
CEMEX SAB-CPO		599.45	—	—	—	素材
GRUMA S. A. B. -B		103	65	1,509	8,438	生活必需品
FOMENTO ECONOMICO MEXICA-UBD		58	29	504	2,822	生活必需品
BOLSA MEXICANA DE VALORES SA		205	393	1,289	7,205	金融
ARCA CONTINENTAL SAB DE CV		—	129	1,355	7,578	生活必需品
INFRAESTRUCTURA ENERGETICA N		203	174	1,303	7,289	公益事業
ALSEA SAB DE CV		148	—	—	—	一般消費財・サービス
GRUPO MEXICO SAB DE CV-SER B		190	263	1,157	6,471	素材
GRUPO FINANCIERO BANORTE-O		250	125	1,228	6,864	金融
ファンド合計	株数、金額	6,672.6	5,374.56	21,612	120,814	
	銘柄数＜比率＞	21銘柄	20銘柄		<91.3%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。
(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2)外国投資信託証券

銘 柄		期 首	当	期 末	
		口 数	口 数	評 価 額	
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額
(メキシコ)		千口	千口	千メキシコ・ペソ	千円
FIBRA UNO ADMINISTRACION SA		—	11	240	1,346
PLA ADMINISTRADORA INDUSTRIA		12	—	—	—
CONCENTRADORA FIBRA HOTELERA		164.8	—	—	—
PROLOGIS PROPERTY MEXICO SA		20.301	—	—	—
合 計	口 数、 金 額	197.101	11	240	1,346
	銘 柄 数 < 比 率 >	3 銘柄	1 銘柄		<1.0%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。
(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年11月19日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	120,814	91.3
投資信託証券	1,346	1.0
コール・ローン等、その他	10,163	7.7
投資信託財産総額	132,324	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月19日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝112.73円、1メキシコ・ペソ＝5.59円です。
(注3) 当期末における外貨建純資産(130,499千円)の投資信託財産総額(132,324千円)に対する比率は、98.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年11月19日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	132,324,123円
コール・ローン等	8,392,497
株式(評価額)	120,814,430
投資信託証券(評価額)	1,346,631
未収入金	1,598,052
未収配当金	172,513
(B) 負債	57
その他未払費用	57
(C) 純資産総額(A－B)	132,324,066
元本	154,784,851
次期繰越損益金	△ 22,460,785
(D) 受益権総口数	154,784,851口
1万口当り基準価額(C／D)	8,549円

* 期首における元本額は212,201,986円、当作成期間中における追加設定元本額は2,579,607円、同解約元本額は59,996,742円です。
* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、メキシコ株ファンド154,784,851円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は8,549円です。
* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は22,460,785円です。

■損益の状況

当期 自 2018年 5月18日 至 2018年11月19日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	2,451,860円
受取配当金	2,451,130
受取利息	985
支払利息	△ 255
(B) 有価証券売買損益	△ 6,330,187
売買益	12,049,505
売買損	△ 18,379,692
(C) その他費用	△ 920,048
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	△ 4,798,375
(E) 前期繰越損益金	△ 14,879,545
(F) 解約差損益金	△ 2,703,258
(G) 追加信託差損益金	△ 79,607
(H) 合計(D＋E＋F＋G)	△ 22,460,785
次期繰越損益金(H)	△ 22,460,785

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。